

日本柔道整復師会  
第38回東海ブロック会柔道大会  
第16回柔整師杯東海少年柔道選手権大会  
第9回東海少年柔道形競技会

Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
山田 敏貴	S49.3.19	大曾根	米田柔整	四段	模型
北田 宣秀	S52.5.21	半田	アムス柔整	—	マンガ



7月21日(日)午後12時30分より午後4時まで、静岡県藤枝市の静岡県武道館にて開催された。この日は、曇天で蒸し暑い日であった。

開会式では、開会宣言を春日井 和幸柔道部長が岩澤 勇治静岡県事業部長(選手として出場のため)に代わり行った。国歌斉唱、優勝旗返還、レプリカ贈呈と続き、次に東海ブロック会より日整全国柔道大会5回以上出場選手として愛知県は、森 正仁・羽田野 剛の両会員が表彰された。

会長挨拶として東海ブロック会会長 鹿野 道郎岐阜県会長が挨拶し、出席者に謝辞を述べるとともに選手に対しては、ケガの無いようにと結んだ。最後に来賓挨拶があり試合へと進んだ。

東海少年柔道選手権大会は今年から団体戦のみとなり、各県選抜された5人の少年少女が活躍した。また、女子の3人での団体戦も行われたが、今大会はかなり時間が短縮された。選抜5人の団体戦、女子3人の団体戦、いずれも愛知県チームが優勝を飾った。会員の大会は、結果3位となった。この会員大会では、2回戦で2選手が負傷しそのうちの一人が棄権した。最終3回戦は、4人で戦うこととなった。

日整全国柔道大会に出場する東海東部チームに、愛知県からは監督として春日井 和幸柔道部長が、選手として下山 徳大・浅井 友哉の両会員が選ばれた。本大会優秀選手には、愛知県からは下地 琉仁選手(少年団体)、榊原 佑月選手(女子団体)、下山 徳大選手(会員団体)が選ばれた。

今大会は、女子3人の団体戦から始まり、少年の団体戦、会員の団体戦の順に行われ、2回戦すべてが終わったところで少年柔道形競技会が行われ愛知県代表ペアが優勝した。

閉会宣言を古市博己三重県柔道部長が行ったのち、来年の大会開催日、会場の発表をした[令和2年7月26日(日)・三重県津市のサオリーナ(サブアリーナ・三重武道館)]。(広報部)

## 令和元年9月1日(防災の日)防災訓練実施

- 愛知県・豊橋市総合防災訓練(本会対応)  
豊橋総合スポーツ公園 9:30~12:00  
\*普段身の回りにある物を利用しての固定法及び運搬法
- なごや市民総ぐるみ防災訓練
  - 東区防災訓練(重点区)(本会対応)  
桜丘中学校 8:00~11:00  
\*普段身の回りにある物を利用しての固定法及び運搬法
  - 昭和区防災訓練(重点区)(本会対応)  
川名公園 8:00~11:30  
\*普段身の回りにある物を利用しての固定法及び運搬法
  - 守山区防災訓練(支部対応) 大森小学校 8:30~11:30  
\*普段身の回りにある物を利用しての固定法及び運搬法
  - 天白区防災訓練(支部対応) 山根小学校 8:00~11:30
- 岡崎市防災訓練(支部対応) 竜美丘小学校 7:00~10:00  
\*上肢・下肢に身近にある新聞紙・レジ袋で応急固定



↑少年柔道選手権優勝



↑女子団体3人制優勝



↑開会式



↑開会宣言



↑少年柔道形競技会優勝



↑東海東部チーム



↑女子団体試合1



↑女子団体試合2



↑会員試合



↑少年団体試合1



↑少年団体試合2



↑少年形競技